

道路を活かす 『みなさんの声』

私たちの生活に道路は欠かすことのできないものです。しかし、完成した道路も使われなければ意味がなく、地域全体で活用して、はじめて地域のためになる道路として成り立っていきます。そこで今回は、道路を活用したり、これから道路がつながっていくことで期待することなど地域みなさんに聞いてみました。

魅力あふれる 舟形若あゆ温泉



舟形若あゆ温泉 支配人 伊藤 恵子さん

舟形若あゆ温泉は年間約14万人のお客様にご利用いただいています。そのほとんどが日帰りで利用される方で、舟形町内をはじめとした新庄最上地域の方はもちろん、山形市や宮城県など、車で2時間圏内の方が多いように感じられます。これは、高規格道路のインターチェンジが近いなどの恵まれたアクセス環境にあることも影響していると思います。今後、東北中央道がつながっていかれば、今まで遠くてお越しいただくことができなかった方も、足を伸ばしていただけるのではないかと期待しています。魅力あふれる舟形若あゆ温泉とあゆっこ村へ、みなさんぜひお越しください。

ベッドタウンとして 人口増



沼沢 龍さん（一の関）

仕事でもプライベートでも高規格道路はよく利用しています。移動時間も短くなるので非常に効率的です。当たり前のように利用しているので、生活には欠かせない道路です。

商工会青年部でも町内のイベントを企画しています。東北中央道につながることで今までよりも行き来しやすくなり、集客効果が期待できると考えています。

また、北は新庄に近く、南は村山や東根に近い舟形町は、立地が良いと思います。町内で起業してもらえればベストですが、この東北中央道がつながれば、新庄や東根なども通勤圏内となり、町外で働いているが住むのは舟形だという人が増え、ベッドタウンとして人口の増加にもつながると思います。

子育てしやすい 優しい町



佐藤 健太さん（舟形第3）

高規格道路は通勤で毎日利用しています。県立高校の教員として部活動の顧問をしています。遠征で県外へ行く時も利用しています。移動時間の短縮はもちろん、一般道よりもかかる時間も計算しやすいので、とても便利だと思います。これから延伸していけば、移動の効率化も図られ、活動の幅が広がると思います。舟形町は、近くに公園がありますし、子どもの医療費無料など、子育てもしやすい優しい町だと思います。私の勤務先は新庄ですが、町外への移動も高規格道路のインターチェンジがあるので時間がかかるといって感じはなく、とても住みやすいと感じています。



昭和62年
1987年6月
第四次全国総合開発計画の閣議決定により、相馬―横手間が高規格幹線道路に構想されました。

平成

平成9年
1997年11月
米沢北IC―南陽高島IC開通

平成11年
1999年11月
川原子IC―新庄IC開通

平成14年
2002年9月
山形上山IC―東根IC開通

平成18年
2006年11月
野黒沢IC―川原子IC開通

平成19年
2007年9月
東根IC―尾花沢IC工事着手

平成23年
2011年3月
新庄IC―新庄北IC開通

平成26年
2014年9月
新庄北IC（仮）昭和IC工事着手

平成27年
2015年4月
（仮）昭和IC―（仮）金山ICが事業化

平成29年
2017年4月
真室川雄勝道路が事業化

平成30年
2018年4月
金山道路（仮）金山IC―（仮）金山北ICの事業化により、東北中央自動車道の全線が事業化に向け、金山町長をはじめ沿線自治体の首長による要望活動が行われました。

2014年11月
尾花沢IC―野黒沢IC開通

2011年4月
南陽高島IC―山形上山IC工事着手

2007年9月
東根IC―尾花沢IC工事着手

2002年9月
山形上山IC―東根IC開通

1999年11月
川原子IC―新庄IC開通

1997年11月
米沢北IC―南陽高島IC開通



▲菅内閣官房長官への要望の様子

2018年4月
大石田村山IC―尾花沢IC開通